

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教育総務課
	02	02	01	03	01	

政策
「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

政策の内容

魅力ある優れた教員の確保やキャリア段階に応じた資質能力の向上とともに、学校における働き方改革をさらに推進し、教職の魅力向上、教員のウェルビーイング向上を目指します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・教職員の時間外在校等時間の更なる削減に向けて、業務内容の見直しや校務DXの推進等により、働き方改革と働きがい改革を一体的に推進する必要がある。
- ・教職員が専門性を発揮しながら、多様な支援スタッフと連携・分担し「チーム学校」として質の高い支援が提供できるよう、各種支援員・補助員の配置を推進する必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	737				
決算	325				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.2				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
スクールロイヤー 活用事業	1 法的相談や研修の実施 学校からの法律相談(対象:市立小中高校)を定期・臨時に実施するほか、教職員への講義や指導・助言を市内の学校エリア単位で実施する(対象:1~8部会、年1回)。	737
		325

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
法律相談の実施率(%)	学校からの依頼により、スクールロイヤーとの法律相談を実施するもの。	スクールロイヤーとの法律相談を実施することにより、法的根拠に基づいた学校の対応に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
講義等の実施回数(回)	スクールロイヤーによる教職員への講義や指導・助言の実施回数	スクールロイヤーによる講義等を実施することにより、法的根拠に基づいた学校の対応に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	8	8	8	8	8
			実績値	8	8				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
様々な支援スタッフと業務を分担、協働しながら進めていると考える職員の割合(%)	教育委員会調査において教職員の意識を把握するもの	法的支援体制の整備により、学校における諸課題への対応支援につながることを見込んでいる。	目標値	-	84.0	85.0	87.0	89.0	90.0
			実績値	83.4	2026年8月確定				
			達成率	-	-				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	93.9%	93.7%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93.4%	97.0%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100.0%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
スクールロイヤー活用事業	1 法的相談や研修の実施 学校からの法的相談については、相談依頼のあった11件の事案について迅速に対応した。 予定していた全8部会において、スクールロイヤーによる講義を実施した。	保護者面談への同席等、学校の「代理人」として交渉や法的対応を行うスクールアトニーの配置を検討する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

スクールロイヤー活用事業については、事業や指標の進捗は順調であった。今後は、学校と保護者・地域との信頼関係構築に向けた体制強化に向けて、スクールアトニーや学校問題解決支援コーディネーターの配置について検討を進める。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		指導課
	02	02	01	03	02	

政策
「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

政策の内容

魅力ある優れた教員の確保やキャリア段階に応じた資質能力の向上とともに、学校における働き方改革をさらに推進し、教職の魅力向上、教員のウェルビーイング向上を目指します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・教職員の時間外在校等時間の更なる削減に向けて、業務内容の見直しや校務DXの推進等により、働き方改革と働きがい改革を一体的に推進する必要がある。
- ・教職員が専門性を発揮しながら、多様な支援スタッフと連携・分担し「チーム学校」として質の高い支援が提供できるよう、各種支援員・補助員の配置を推進する必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	21,844				
決算	20,551				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.4				
会計年度任用職員	0.5				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
人件費 会計年度任用職員	1 部活動指導員の配置 部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図るため、市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置する。	21,844
	2 スクールソーシャルワーカーの配置 家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、関係機関との連携調整を図り、多様な支援方法による問題の解決や状況の改善につなげるため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。	20,551

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
部活動指導員の 配置(人)	市立中学校へ部活動指導員を配置するもの。	専門的な技術を有する指導員の配置により、部活動指導の充実に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	67	80	100	配置数 再検討	配置数 再検討
			実績値	49	68				
			達成率	-	101%				
スクールソーシャル ワーカーの配 置(人)	市立小中学校及び高等学校へスクールソーシャルワーカーを配置するもの。	配置拡充により、問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な専門家との教育相談体制の充実に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	22	26	配置数 再検討	配置数 再検討	配置数 再検討
			実績値	20	21				
			達成率	-	95%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
様々な支援スタッフと業務を分担、協働しながら進めていると回答した教職員の割合(%)	教育委員会調査において教職員の意識を把握するもの。	支援スタッフと協働した学校運営は、時間外在校等時間の削減につながると見込んでいる。	目標値	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0
			実績値	83.4	2026年 8月確定				
			達成率	-	-				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切にし、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
人件費 会計年度任用職員	1 部活動指導員の配置 部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図るため、37校に部活動指導員延68人(運動部58人、文化部10人)を配置した。 2 スクールソーシャルワーカーの配置 家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、関係機関との連携調整を図り、多様な支援方法による問題の解決や状況の改善につなげるため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカー1名を緊急的な事案に対応するために配置した。	部活動指導員については、休日部活動の地域展開の動向を注視しながら適正な人員の確保、配置を図っていく。 スクールソーシャルワーカーについては、家庭環境等に問題を抱えた児童生徒は増加傾向にあるため、引き続き適正な人員の確保に努めていく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

部活動指導員及びスクールソーシャルワーカーの配置については、事業や指標の進捗は概ね順調であった。 部活動指導員は、休日部活動の地域展開の動向を注視しながら適正な人員の確保・配置を図っていく。スクールソーシャルワーカーは、家庭環境等に問題を抱えた児童生徒は増加傾向にあるため、引き続き適正な人員の確保を図っていく。
--

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教職員課
	02	02	01	03	03	

政策
「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

政策の内容

魅力ある優れた教員の確保やキャリア段階に応じた資質能力の向上とともに、学校における働き方改革をさらに推進し、教職の魅力向上、教員のウェルビーイング向上を目指します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・教職員の時間外在校等時間の更なる削減に向けて、業務内容の見直しや校務DXの推進等により、働き方改革と働きがい改革を一体的に推進する必要がある。
- ・教職員が専門性を発揮しながら、多様な支援スタッフと連携・分担し「チーム学校」として質の高い支援が提供できるよう、各種支援員・補助員の配置を推進する必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,119,524				
決算	1,005,986				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	11.0				
会計年度任用職員	2.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
人件費 会計年度任用職員	小学校へ会計年度任用職員を配置する。 1 非常勤講師等 国庫負担非常勤講師(国負担1/3)、国庫補助非常勤講師等(国補助1/3) 市単非常勤講師等 2 パート給食員等 パート給食員、臨時給食員 3 発達支援教室支援員等 発達支援教室支援員、スクールヘルパー 4 学校教育指導支援員等 図書館補助員、学習支援員、複式学級支援員、生徒指導支援員、養護教諭補助員	764,200
		687,504
人件費 会計年度任用職員	中学校へ会計年度任用職員を配置する。 1 非常勤講師等 国庫負担非常勤講師(国負担1/3)、国庫補助非常勤講師等(国補助1/3) 市単非常勤講師等 2 パート給食員等 パート給食員、臨時給食員 3 発達支援教室支援員等 発達支援教室支援員、スクールヘルパー 4 学校教育指導支援員等 学校図書館補助員、生徒指導支援員、養護教諭補助員	334,941
		300,809
教職員管理デジタル運営経費	教職員課のデジタル関連事業を行う。	6,855
		6,231
教職員管理運営経費	教職員課の一般事業を行う。	13,528
		11,442

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
民間企業の力も活用した、教員を志す学生(高校生含む)への浜松市の教育や教職の魅力のPR(回)	大学での「教職ガイダンス」や教職の魅力発信のためのイベント開催、市内高校でのガイダンスの実施回数(大学58・高校6・イベント1)	大学や市内高校でのでのガイダンスやイベント開催は、採用選考試験における採用倍率に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	65	65	65	65	65
			実績値	65	75				
			達成率	-	115%				
公務災害の発生件数(件)	公務災害の発生件数	公務災害の発生件数は、安心して働くことができる環境に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	58	51	44	37	30
			実績値	65	67				
			達成率	-	87%				
教員育成指標に基づいた研修の受講奨励、振り返りの適切な運用に向けた指導助言の周知率(%)	教員育成指標に基づいた研修の受講奨励、振り返りの確実な実施を周知するもの	教員のキャリア段階に応じた研修の受講奨励は、質の高い教職員の育成に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
支援スタッフの配置率(%)	学校の実情と配置基準に基づいた支援スタッフを配置するもの。	支援スタッフの適切な配置は、時間外在校等時間の削減に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	95.5				
			達成率	-	96%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教員採用選考試験受験者採用倍率(倍)	教員採用選考試験受験者採用倍率	採用倍率を維持することにより、優れた教職員の確保につながることを見込んでいる。	目標値	-	幼1.7 小2.3 中6.1	幼1.7 小2.3 中6.1	幼1.7 小2.3 中6.1	幼1.7 小2.3 中6.1	幼1.7 小2.3 中6.1
			実績値	幼1.7 小2.3 中6.1	幼1.7 小2.2 中6.1				
			達成率	-	幼100% 小95% 中100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
病気休職者割合 (単位: %)	病気休職者割合	病気休職者割合を監視することにより、労働安全衛生管理の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	全国平均を下回る	全国平均を下回る	全国平均を下回る	全国平均を下回る	全国平均を下回る
			実績値	0.97	0.91				
			達成率	-	2026年12月確定				
様々な支援スタッフと業務を分担、協働しながら進めていると回答した教職員の割合 (%)	教育委員会調査において教職員の意識を把握するもの。	支援スタッフと協働した学校運営は、時間外在校等時間の削減につながると見込んでいる。	目標値	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0
			実績値	83.4	2026年8月確定				
			達成率	-	-				
時間外在校等時間が年間720時間超の教職員の割合(単位: %)	教育委員会調査において、時間外在校等時間の状況を把握するもの。	時間外在校等時間の把握は、学校における働き方改革の更なる推進につながるものと見込んでいる。	目標値	-	16.0	12.0	8.0	4.0	0.0
			実績値	19.8	2026年8月確定				
			達成率	-	-				
連続する複数月の時間外在校等時間が月あたり80時間超の教職員の割合 (%)	教育委員会調査において、時間外在校等時間の状況を把握するもの。	時間外在校等時間の把握は、学校における働き方改革の更なる推進につながるものと見込んでいる。	目標値	-	16.0	12.0	8.0	4.0	0.0
			実績値	20.2	2026年8月確定				
			達成率	-	-				
ワーク・エンゲージメントの質問に対する教職員の回答の値 (pt)	教育委員会調査において教職員の意識を把握するもの。	ワーク・エンゲージメントの把握は、教職員がいきいきと働ける環境整備につながるものと見込んでいる。	目標値	-	4.5	4.6	4.7	4.9	5.0
			実績値	4.3	2026年8月確定				
			達成率	-	-				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切にし、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
人件費 会計年度任用職員	非常勤講師等549人、パート給食員等44人、発達支援教室支援員等196人、学校教育指導支援員等199人を各小学校の実情や配置基準に基づき適切に配置した。	引き続き学校の実情や配置基準に基づいた適切な配置を行っていく。
人件費 会計年度任用職員	非常勤講師等251人、パート給食員等13人、発達支援教室支援員等83人、学校教育指導支援員等50人を各中学校の実情や配置基準に基づき適切に配置した。	引き続き学校の実情や配置基準に基づいた適切な配置を行っていく。
教職員管理デジタル運営経費	教員採用選考試験における適性検査・解釈業務を実施した。	受験者に対して教員としての適性をみるための検査であり、今後も実施していく。
教職員管理運営経費	教員採用選考試験採点業務及び教員採用に関する試験案内やポスター等の作成、教員の魅力を伝えるイベント等の広報業務を委託により実施した。	2027年度から採用試験の共同実施に参加し、全国共通問題を使用するが、採点については引き続き業務委託により実施する。 教員採用に関する試験案内やポスター等の作成、教員の魅力を伝えるイベント等については、今後も強化していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(教員採用選考試験受験者採用倍率) 幼稚園については、市長事務部局(こども家庭部)の所管であるため、目標値、実績値から削除する。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

会計年度任用職員の配置については、支援員の配置基準に基づいた適切な配置を行い、指標の進捗は概ね順調であったが、人材確保に苦慮する地域へ支援員を配置することができなかった。引き続き学校の実情や配置基準に基づいた適切な配置を行いつつ、人材確保に向けて登録募集を行っていく。 教員採用試験にかかる業務委託については、事業及び指標の進捗は順調であった。しかし、教員志願者の確保は喫緊の課題であり、中学校教員では、大幅に志願者が減少している教科もある。また、全国的な受験機会の複数回化(大学3年生受験)の導入により、併願者及び合格後の辞退者数についても予断を許さない状況である。引き続き業務委託による広報活動を行う中で、教職への就活が明確になっていない潜在的なターゲット層や浜松へのUターン、Iターン等のターゲット層へのアプローチにも取り組んでいく。
--

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教育センター
	02	02	01	03	04	

政策
「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

政策の内容

魅力ある優れた教員の確保やキャリア段階に応じた資質能力の向上とともに、学校における働き方改革をさらに推進し、教職の魅力向上、教員のウェルビーイング向上を目指します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・教職員の時間外在校等時間の更なる削減に向けて、業務内容の見直しや校務DXの推進等により、働き方改革と働きがい改革を一体的に推進する必要がある。
- ・教職員が専門性を発揮しながら、多様な支援スタッフと連携・分担し「チーム学校」として質の高い支援が提供できるよう、各種支援員・補助員の配置を推進する必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	12,337				
決算	9,316				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	9.3				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	6.9				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
教職員研修事業	1 「教員育成指標」の効果的な運用 「教員育成指標」に基づく受講奨励や振り返りの効果的運用に向けた支援を実施する。 2 「教員育成指標」に基づく研修の充実 「浜松市教職員研修計画」に基づいた研修を実施する。	12,337
		9,316

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学びのサイクル 実現に向けた全 国教員研修プ ラットフォーム 「Plant」の活用率 (%)	教育委員会調査におい て、教職員が全国教員 研修プラットフォーム 「Plant」の活用を把握す るもの。	全国教員研修プラットフォーム 「Plant」の活用は、教職員の学 びのサイクルに寄与するものと 見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
「浜松市教職員 研修計画」に基 づいた研修参加 者の満足度(%)	教育委員会調査におい て、教育センターが実施 するすべての研修の満 足度を把握するもの。 (平均値)	研修の満足度は、参加者を主 語とした研修の実施に寄与する ものと見込んでいる。	目標値	-	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
			実績値	85.6	2026年 8月確 定				
			達成率	-	-				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
自律的、継続的 に学び続ける教 職員の割合(%)	教育委員会調査におい て教職員の意識を把握 するもの。	自立的、継続的に学び続ける教 職員は、専門性を有する質の高 い教職員の育成につながると見 込んでいる。	目標値	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			実績値	98.6	2026年 8月確 定				
			達成率	-	-				
「教員育成指標」 のキャリア段階 における、求めら れる資質能力の 達成度(%)	教育委員会調査におい て教職員の意識を把握 するもの。	キャリア段階における資質能力 の達成は、専門性を有する質の 高い教職員の育成につながると 見込んでいる。	目標値	-	69.0	72.0	75.0	78.0	80.0
			実績値	67.2	2026年 8月確 定				
			達成率	-	-				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切にし、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
教職員研修事業	1 「教員育成指標」の効果的な運用 「教員育成指標」の効果的な運用について、冊子への掲載や研修で周知を図った。 2 「教員育成指標」に基づく研修の実施 「浜松市教職員研修計画」に基づき研修を実施した。 (延べ実施回数:270回、延べ参加人数:14,995人) :定期的に研修内容を再確認し、効果的な研修づくりに努めた。	2026年度中に「教員育成指標」の見直しを行い、第4次浜松市教育総合計画を踏まえた指標に改訂する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

教職員研修事業については、計画どおりに研修等を実施することができ、指標の進捗も概ね順調であった。教員育成指標を基にしながら、「研修と実践の往還」や「自律的、継続的な学び」を絶えず推奨してきたことで、自律的、継続的に学び、研修の中で気付きを得ることができた。教職員や、研修での気付きを実践に生かすことで求められている資質・能力が身に付いた教職員が増加した。引き続き、研修の充実と周知に力を入れ、自律的、継続的に学び続ける教職員を後押ししていく。
--